

■ その他の機能

ecoドライブ機能を使う	86
ecoドライブ機能とは	86
ecoドライブを開始する	86
地図更新について	87
地図SDHCメモリーカードの 出し入れ	88

■ 別売品

後席用モニターと組み合わせる	89
ETC2.0車載器と接続して使う	90
信号情報活用運転支援システム (TSPS)による情報提供サービス	90
リアビューカメラと組み合わせる	91
リアビューカメラに切り換える	91
リアビューカメラの設定をする	91
その他の外部機器と接続して使う	92
ビデオカメラと接続する	92
ドライブレコーダーと接続する	92

■ 設定

利用に応じた設定に変える	93
表示の設定をする	93
案内の設定をする	95
探索条件の設定をする	97
渋滞情報 (VICS) の設定をする	97
ETCの設定をする	98
システムの設定をする	98
各種設定をお買い上げ時の状態に 戻す	100

■ 困ったとき

よくあるお問い合わせ	101
故障かな!?	102
電源・共通	102
ナビゲーション	104
オーディオ [TV]	105
オーディオ [FM/AM]	106
オーディオ [DVD]	107
オーディオ [MP3/WMA (CD-R/ CD-RW)]/[SD]/[USB]	107
オーディオ [MEMORY MUSIC]	109
オーディオ [iPod]	109
BLUETOOTH	110
こんなメッセージが出たときは	114

結露について	116
万一、故障や異常が起これば	116

■ 必要なとき

ディスクについて	117
SDメモリーカード・USBメモリー について	120
データ作成時の留意点	121
BLUETOOTHについて	125
ナビゲーションシステムとは	126
VICSについて	130
地図ソフトについて	132
さくいん	136
商標などについて	140
ソフトウェア、およびオープン ソースソフトウェアについて	142
仕様	144
保証とアフターサービス	146

ecoドライブ機能を使う

ecoドライブ機能とは

急加速・急減速・アイドリング・速度の情報をもとに、環境に優しい「エコドライブ」ができていかどうか診断します。

お知らせ

- ドライブ診断の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

ecoドライブを開始する

- 1 **MENU**を押し、**情報・設定** ▶ **情報**
▶ **ecoドライブ**を選ぶ

- 2 ecoドライブ画面から**ecoドライブ開始**を選ぶ



- ecoドライブの診断を開始します。



- ① 総合評価
- ② 診断結果
- ③ ecoドライブ中止

総合評価

- 診断結果をもとに、ecoドライブの総合評価がA(最高)～E(最低)の5段階で表示されます。

ecoドライブを中止する

- ecoドライブ画面から**ecoドライブ中止**を選ぶ

- ecoドライブの診断を中止します。

診断結果

エコマーク(♻️)が多いほど高評価です。
(「♻️♻️♻️♻️♻️」が最高)

- 急加速： 急加速を行うと、エコマークが減少
- 急減速： 急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング： 長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- eco速度： 高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ecoドライブ画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- 探索条件(P.45)を「eco」にして探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ecoドライブの診断結果が悪くなる場合があります。
- 日付が変わり、本機の電源をOFFにした時点で、診断結果はリセットされます。

地図更新について

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。
年度更新地図の発売時期・販売方法などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。

<https://panasonic.jp/navi/>

■ 更新内容

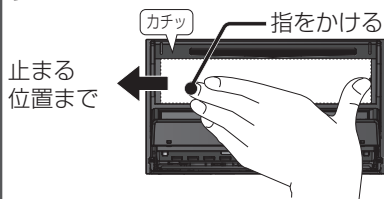
- 道路地図（縮尺 50 m ～ 250 km） ※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

地図更新について

地図SDHCメモリーカードの出し入れ

- 1 **TILT** を押し、**OPEN** を選ぶ
●ディスプレイが開きます。

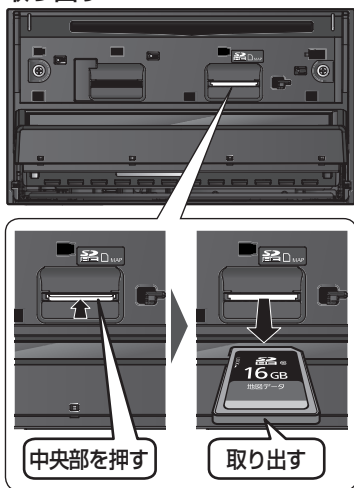
- 2 パネルを左にスライドさせ、取り外す



- 3 車のエンジンを切る (ACC を OFF にする)
●ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。

4 取り出し方

地図SDHCメモリーカードを取り出す



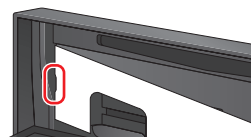
そのまま地図更新を行ってください。

4 挿入のしかた

地図SDHCメモリーカードを挿入する

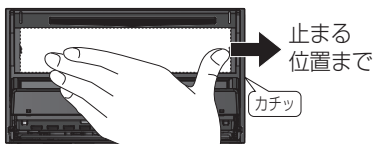


- 5 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



- パネル裏面の突起を、本体の孔に組み合わせてください。

- 6 パネルを右にスライドさせ、取り付ける



7 ディスプレイを閉じる

- 1 車のエンジンをかける (ACC を ON にする)
- 2 **確認** を選び、**TILT** を押す
●ディスプレイが閉じます。

お知らせ

- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉じません。

後席用モニターと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像([TV]、[DVD]、[VTR]、[SD(動画)]、[USB(動画)])を、後席用モニターに表示できます。

- 別売の車両AVインターフェースコード(CA-LAV200D)の接続が必要です。(取付説明書)

準備

- 後席用モニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える

(P.50)

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [MAP]を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。
ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。

お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
 - ・ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
 - ・ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報提供サービス

道路に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。

表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき(信号通過支援)*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤になると予測したとき(赤信号減速支援)*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青に変わるのを待つとき(発進遅れ防止支援)		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青になるとき(発進遅れ防止支援)		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

- *1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.96)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - ・提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - ・信号機の色が変わる直前のとき
 - ・対象となる交差点までの距離が短いとき
 - ・高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - ・信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - ・信号機の制御方式(押しボタン式、感應式など)により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供してはおりません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見えにくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面を表示させ、画質を調整してください。

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 **MENU** を押し、**情報・設定**

▶ **システム設定** を選ぶ

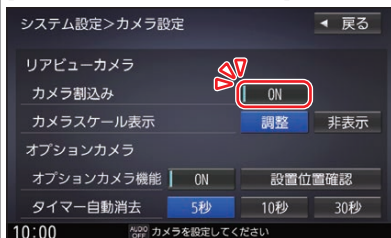
2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **カメラ設定** を選ぶ

4 カメラ割込み **ON** を選ぶ

- カメラ設定がONになります。

[お買い上げ時の設定: OFF]

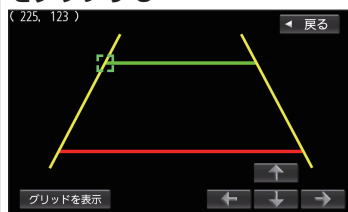


- 再度選ぶと、OFFになります。

5 カメラスケール表示の **調整** を選ぶ

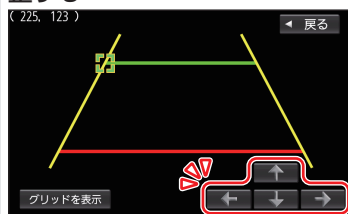
6 カメラスケールを調整する

1 カメラスケールの調整したい点をタッチする



- タッチした場所が **[]** で表示されます。
- [MAP]** を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 **←** **→** **↑** **↓** で位置を整る



- **グリッドを表示**
調整の目安となるグリッドを表示します。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する

その他

その他の外部機器と接続して使う

ビデオカメラやドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

ビデオカメラと接続する

- 別売の車両AVインターフェースコード(CA-LAV200D)の接続が必要です。(取付説明書)

オーディオメニュー(P.17)から**VTR**を選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。
録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から**表示**を選ぶ

3 各項目を設定する

■ メイン画面用地図設定

[太字 : お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
地図モード (P.36)	「北向き」: ノースアップで表示する 「進行方向」: ヘディングアップで表示する 「3D」: 3D 地図で表示する
3D 視角調整	3D の地図の傾きを設定します。 角度大:  角度小: 
吹き出しを表示 (P.24)	「する」: 高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 吹き出し表示しない
標高地図を表示	「する」: 広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 標高地図を表示しない
ダイレクトボタン	設定するを選ぶ 「ドライブレコーダー動画録画」: ドライブレコーダーの動画録画タッチキーを表示 「ドライブレコーダー静止画撮影」: ドライブレコーダーの静止画撮影タッチキーを表示 「オプションカメラ」: オプションカメラタッチキーを表示 「表示しない」: ダイレクトボタンを表示しない

■ 右画面用地図設定

[太字 : お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
右画面に地図表示 (P.37)	「する」: 右画面に地図を表示する 「しない」: 右画面に地図を表示しない
名称の文字サイズ	「標準」: 右画面の地図の文字を大きくする 「小」: 右画面の地図の文字を小さくする
吹き出しを表示 (P.24)	「する」: 右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」: 右画面に吹き出し表示しない
標高地図を表示	「する」: 右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」: 右画面に標高地図を表示しない
地図モード (P.36)	「北向き」: 右画面をノースアップで表示する 「進行方向」: 右画面をヘディングアップで表示する 「3D」: 右画面を3D 地図で表示する
3D 視角調整	右画面の3D の地図の傾きを設定します。 角度大:  角度小: 

利用に応じた設定に変える

■ 地図色設定

[太字 : お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
昼夜切換	「時間連動」: 時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「昼」: 常に昼画面で表示する 「夜」: 常に夜画面で表示する 「スモール連動」: 車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える
標高地図色	「季節連動」: 季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「春」: 常に春の地図色で表示する 「夏」: 常に夏の地図色で表示する 「秋」: 常に秋の地図色で表示する 「冬」: 常に冬の地図色で表示する 「標準」: 標準的な色彩の地図色で表示する

■ 情報バー表示設定

[太字 : お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
MAPCODEを 表 示 (P.26)	「する」: 情報バーにマップコードを表示する 「しない」: 情報バーにマップコードを表示しない
地図情報を表示	「住所名」: 情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」: 情報バーに現在地の道路の名称を表示する
AUDIO情 報 を 表 示 (P.25)	「する」: 情報バーにオーディオの情報を表示する 「しない」: 情報バーにオーディオの情報を表示しない
残距離/到着時刻を表示 (P.27)	「経由地」: 経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」: 目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する

■ その他設定

[太字 : お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
緯 度・経 度 を 表 示 (P.26)	「する」: 地図モード画面に緯度・経度を表示する 「しない」: 緯度・経度を表示しない
冠水注意ポイント表示	「する」: 豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」: 冠水注意ポイントを表示しない
市街地図での冠水注意ポイント表示	「する」: 冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」: 市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
登録地を表示 (P.47)	「する」: 地図に登録地を表示する 「しない」: 地図に登録地を表示しない
時計表示 (P.25)	「する」: 時計を表示する 「しない」: 時計を表示しない 「映像中はしない」: オーディオがTV、DVD、SD (動画)、USB (動画)、VTRのとき、時計を表示しない(他の画面では表示する) ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
デュアルウィンドウを表示 (P.37)	「する」: オーディオがTV、DVD、SD (動画)、USB (動画)、VTRのとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「しない」: デュアルウィンドウ表示しない
50 m市 街 地 図 表 示 (P.24)	「する」: 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「しない」: 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する

項 目	設定内容
ランドマーク	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
ランドマーク表示	「する」: ランドマークを表示する 「しない」: ランドマークを表示しない
3D地 図 ビ ル 表 示 (P.37)	「する」: 3D地図でビルを立体表示する 「しない」: 3D地図でビルを立体表示しない
ゾーン30エ リ ア 表 示 (P.37)	「する」: ゾーン30のエリアを表示する 「しない」: ゾーン30のエリアを表示しない
自車位置 (通常は必要ありません)	自車位置を修正できます。
走行軌跡	走行軌跡の記録、表示の設定、削除ができます。

案内の設定をする

1 [MENU] を押し、情報・設定 ▶ ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から案内を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 案内表示項目設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ルートの全表示	「する」: ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」: ルート探索後、全ルート図を表示しない
交 差 点 情 報 の 表 示 (P.26)	「常時」: 常に交差点情報を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」: 交差点情報を表示しない
ETCレーンの表示	「する」: ETCレーン案内を表示する 「しない」: ETCレーン案内を表示しない
JCTビューの表示	「する」: ジャンクションビューを表示する 「しない」: ジャンクションビューを表示しない
目 的 地 方 向 を 表 示 (P.27)	「する」: 目的地方向を直線で表示する 「しない」: 目的地方向を表示しない
ルート情報の表示	「する」: ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「しない」: ルート情報を表示しない
ハイウェイモードの表示	● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。 「する」: ハイウェイマップを表示する 「しない」: ハイウェイマップを表示しない
交差点拡大図の表示	「する」: 交差点拡大図を表示する 「しない」: 交差点拡大図を表示しない
リアル3D表示	「する」: 複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」: リアル3D表示しない
方面看板の表示	「常時」: 常に方面看板を表示する 「案内中」: ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」: 方面看板を表示しない
逆 走 注 意 ア ラ ー ム (P.29)	「する」: 逆走注意の案内を表示する 「しない」: 逆走注意の案内を表示しない

利用に応じた設定に変える

項 目	設定内容
Audio画面中の案内割込み	「する」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
デュアルウィンドウ中の案内割込み	「する」: 右画面にオーディオの映像を表示させた地図(デュアルウィンドウ)に割り込んでルート案内する 「しない」: デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
EWS(緊急情報)の割込み	「する」: TVのEWS(緊急情報)を受信したら、割り込み表示する 「しない」: EWS(緊急情報)の割り込み表示をしない

■ 案内音声項目設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
案内出力スピーカー	「左前」: 本機の案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」: 本機の案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
専用レーン案内	「する」: ルート案内中に左右折専用レーンがある場合、案内する 「しない」: 専用レーン案内しない
案内音量の車速連動	「する」: 車速に連動して、音量を自動的に上げる 「しない」: 車速に関わらず音量は一定となる
VICS案内	「する」: ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくとき、音声で案内する 「しない」: 渋滞/規制情報を音声で案内しない
休憩メッセージ案内	「する」: ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」: 休憩メッセージ案内しない
トンネル出口案内	「する」: トンネル出口の情報がある場合、ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内する 「しない」: トンネル出口案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「する」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「しない」: 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤信号減速支援* ¹	「する」: 前方の信号機が赤になると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
信号通過支援* ¹	「する」: 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援* ¹	「する」: 前方の信号機が青になるまでの残り時間をアイコンで表示する 「しない」: アイコンを表示しない
支援音声ガイド* ¹	「する」: 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援の情報を音声で案内する 「しない」: 音声で案内しない

*¹ 「光ビーコンアップリンク」が「する」の場合のみ、設定できます。

探索条件の設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **探索** を選ぶ

3 各項目を設定する

■ 詳細条件

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
自動再探索	「する」： ルートから外れた道を行くと自動的に再探索する 「しない」： 自動再探索しない
フェリーを優先	「する」： フェリー航路を優先して通るルートを探る 「しない」： フェリー航路を優先して通るルートを探らない
時間規制道路を考慮	「する」： 時間規制を考慮したルートを探る 「しない」： 道路の時間規制を考慮しない
VICS自動再探索*1	「する」： VICS情報を考慮して、ルート自動的に再探索する 「しない」： VICS自動再探索しない
新旧ルート比較画面を表示	「する」： 曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」： 新旧ルート比較画面を表示しない
到着予想	「自動」： VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「手動」： 一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「手動」を選んだ場合、 +/− で設定する ●一般道： 5～50～60 km/h ●国道： 5～65～80 km/h ●有料道路： 5～80～100 km/h

*1 ストラダチューン(ルート)で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。(P.31)

渋滞情報(VICS)の設定をする

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **渋滞情報** を選ぶ

3 各項目を設定する

■ ビーコン割込み設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ビーコン受信音	「する」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「する」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」： 情報が自動的に表示されない

利用に応じた設定に変える

■ 渋滞情報保存時間設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
渋滞情報保存時間設定	渋滞情報を保存する時間 (15分/30分/ 1時間 /2時間) を設定します。

■ ETC2.0設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC2.0受信音	「する」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「する」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「する」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「する」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETCの設定をする

1 **[MENU]** を押し、**情報・設定 ▶ ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から**ETC**を選ぶ

3 各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC 音声ガイド	「する」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」： ETC 音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「する」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される*1 「しない」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「する」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される*1 「しない」： カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。

システムの設定をする

1 **[MENU]** を押し、**情報・設定 ▶ システム設定** を選ぶ

2 各項目を設定する

■ BLUETOOTH

項 目	設定内容
BLUETOOTH (P.77)	BLUETOOTH対応機器の登録やハンズフリーの通話設定などが設定できません。

■ セキュリティ

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
セ キ ュ リ ティ 設 定 (P.21)	「する」： セキュリティ設定をする 「しない」： セキュリティ設定をしない
盗難多発地点 音声案内 (P.12)	「する」： 盗難多発地点を音声で案内する 「しない」： 盗難多発地点を音声で案内しない
盗難多発地点 表示案内 (P.24)	「する」： 盗難多発地点を表示で案内する 「しない」： 盗難多発地点を表示で案内しない
市街地図での盗難多発地点表示案内 (P.24)	「する」： 市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」： 市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
iPod 抜 き 忘 れ 案 内 (P.12)	「する」： iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」： iPodの抜き忘れ案内をしない

■ ユーザーカスタマイズ

項 目	設定内容
ユーザーカスタマイズ (P.15)	ユーザーごとに各設定を記憶させることができます。

■ 画質調整

項 目	設定内容
画質調整のしかた	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。

■ キー操作音

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
キー操作音	「する」： キー操作音を鳴らす 「しない」： キー操作音を鳴らさない

■ ステアリングスイッチ

項 目	設定内容
ステアリングスイッチ	取付説明書をご覧ください。

■ オプションボタン

項 目	設定内容
オ プ シ ョ ン ボ タ ン (P.20)	「消音」や「画面OFF」などをOPT(オプション)に割り当てることができます。

■ その他設定

[太字：お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
車種設定 (P.15)	有料道路の料金をどの車種で計算するかを設定できます。
車両メンテナンス	車両メンテナンス情報を設定できます。
カメラ設定 (P.91)	リアビューカメラやオプションカメラの設定ができます。
バージョンアップ	本機のソフトウェアをバージョンアップする場合に使用します。
初期化 (P.100)	各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

利用に応じた設定に変える

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 **MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **その他設定** を選ぶ

3 **初期化** を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

5 **はい** ▶ **はい** を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化 (削除) した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

6 初期化が完了したら、車のエンジンを止め (ACC OFF)、約 10 秒間放置してから、再度車のエンジンをかける (ACC ON)

- 本機が再起動します。

項 目	設定内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する (NTFS ファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
登録データの初期化	登録・設定した内容 (登録地・登録ルートなど) を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。

お 願 い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。
故障の原因となります。

お 知 ら せ

- 録 音 デ ー タ の 初 期 化 はMEMORY MUSIC再生画面 (P.65) から **情報** ▶ **録音データ初期化** を選んでください。
- Gracenote デ ー タ ベ ー ス の 初 期 化 は オ ー デ ィ オ チ ュ ー ン 画 面 か ら **gracenote** ▶ **初期化** を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。
- 他人への譲渡または処分などされる際は、**MENU** を押し、**情報・設定** ▶ **情報** ▶ **車両信号情報** ▶ **センサー学習値初期化** を選

んでセンサー学習値を初期化してください。

- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - ・ CD再生モード
 - ・ FM/AM
 - ・ 交通情報
 - ・ オーディオチューン (車速連動VOL補正以外)
 - ・ 音量調整
 - ・ 映像調整
 - ・ 画質調整

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ [MAP]を押してください。(P.26)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態です。車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- **GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。**(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ [MENU]を押し、**情報・設定 ▶ 情報 ▶ 車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。
- **GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。**(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→ **GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。**(取付説明書)

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→ 地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で **詳細 / 広域** を選び、縮尺を切り換えてください。(P.35)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→ 汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/navi/>

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通

■ 動作

内 容	ページ
電源が入らない	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	(P.12)
低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
本機が動作しない	
地図 SDHC メモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	(P.88)
他の機器で使用した地図 SDHC メモリーカードが挿入されている。 ● 地図 SDHC メモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。地図 SDHC メモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
ディスプレイの上下角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
ディスプレイが閉じない	
地図 SDHC メモリーカード挿入口のパネルが閉まっていない。 ● 地図 SDHC メモリーカード挿入口のパネルを確実に閉めてください。	(P.88)
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、 完了 を選んで設定を完了してください。	取付説明書

内 容	ページ
本機が温くなる	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	(P.100、P.120) —

■ 画面／映像

内 容	ページ
映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い	
画質調整が適切でない。 ● [MAP]を2秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
オーディオがVTRになっている。 ● 他のオーディオに切り換えるなどして、VTR以外の画面を表示させてください。	(P.50)
一時的に画面を消している(画面OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクターのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している(画面OFF) ● [AUDIO]/[MENU]/[MAP]/[TILT]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
パーキングブレーキをかけていない。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

■ 音声

内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
FADE/BALANCEの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
iPod・携帯電話・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

故障かな!?

内 容	ページ
雑音が出る	
携帯電話などを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書

ナビゲーション

■ 案内

内 容	ページ
音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ●ナビ案内音量の設定を調整してください。	(P.13)
ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	(P.26) —
自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	(P.97)
ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	(P.27) —
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーメニューから、 道路切換 を選んでください。	—
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	(P.45)

■ 動作

内 容	ページ
登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された	
操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再度操作してください。	—
戻る を選んでも、前の画面に戻らない	
画面によっては、 戻る を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—

内 容	ページ
地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—

■ 表示

内 容	ページ
VICS情報が表示されない(FM VICS)	
VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	—
FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— —
地図情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
モーターアンテナ設定がONの状態、AUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。 ●AUDIO ONに切り換えてください。	(P.51)
ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書
VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0)※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● 取り付け位置や接続を確認してください。	— — 取付説明書
電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
TSPSアイコンが表示されない※別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
路側装置の機器メンテナンス作業や故障等により、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	—
地図データに対象交差点の情報がないときはTSPSアイコンは表示されません。	—

オーディオ[TV]

■ 映像／音声

内 容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	
ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—

故障かな!?

内 容	ページ
映像や音声(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがあります。故障ではありません。	—
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	—
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	—
フロントガラスに 車載カメラ装置(自動ブレーキシステムやドライブレコーダーなど) が 装備 されている場合は、カメラから 地上デジタルアンテナ を離して取り付けてください。	取付説明書
地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ [FM/AM]

■ 動作

内 容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—

■ 音声

内 容	ページ
ラジオが受信できない/ノイズが多い	
放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	(P.54)
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	(P.54)
ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
● ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。 ● ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。	取付説明書

オーディオ [DVD]

■ 動作

内 容	ページ
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ 言語設定 を選び、メニュー言語の設定を確認してください。	—
ディスクを挿入しても再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	(P.56)
再生できるディスクを使用してください。	(P.117)
ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—

■ 音声

内 容	ページ
再生中に小さい音が聞き取りにくい	
再生操作タッチキーから 設定 ▶ ダイナミックレンジ圧縮 を選び、「ON」に設定してください。	—
DVD再生の音量が小さい	
音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	(P.13)
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
本機の取り付けを確認してください。 ● 角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

■ 動作

内 容	ページ
再生するまで時間がかかる	
記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ● MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—

故障かな!?

内 容	ページ
順番どおりに再生されない	
書き込んだ順番に再生されます。	—
●再生したい順番に、書き込んでください。	—
●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	—
再生できない	
本機に対応したメディアを再生してください。	(P.117、P.120)
●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	—
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	(P.121)
ファイルが破損している。	—
●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	(P.121)
ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。	—
●MP3 ファイル：拡張子「mp3(MP3)」	—
●WMA ファイル：拡張子「wma(WMA)」	—
●AAC ファイル：拡張子「m4a(M4A)」	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.119)
音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	—
低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。	—
●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMA ファイルが無音で再生されることがあります。	—

■ 表示

内 容	ページ
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	(P.121)
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
再生経過時間の表示が実際と一致していない	
再生中、ACCをOFFにした。	—
●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

■ 録音

内 容	ページ
録音設定の切り換えができない	
録音中の場合は、録音を停止してください。	(P.63)

■ 動作

内 容	ページ
CDから録音した曲が再生されない	
曲のファイルが破損している。 ● 再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ● 改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	— (P.100、 P.120)

■ 表示

内 容	ページ
録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ● タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	(P.66)

オーディオ [iPod]

■ 動作

内 容	ページ
iPodが正しく動作しない	
iPodが正しく認識されていない。 ● 接続を確認してください。 ● iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
iPodのバージョンが古い。 ● iPodのバージョンを確認してください。	—

故障かな!?

BLUETOOTH

■ 登録

内 容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	—
HFP (Hands-Free Profile) に対応した携帯電話を登録してください。	—
BLUETOOTH対応機器のファームウェア(ソフトウェア)を最新にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称(Strada)を選択しても、本機を登録できない	
デバイスアドレスが本機のもの異なる。 ● 本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	(P.77)

■ 接続

内 容	ページ
「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか?」と音声案内される(接続設定されている携帯電話に接続できない)	
接続確認案内の設定が「する」になっている場合に、音声案内されます。 ● 携帯電話のBLUETOOTH機能を有効にしてください。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。 ● 接続設定されている携帯電話を使用しない場合には、接続を解除してください。	— — (P.79)
本機に接続できない	
BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	(P.77)
携帯電話がHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
携帯電話がSPP (Serial Port Profile) に対応していないとスマホ連携接続できません。	—
携帯電話の受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
自動的ペアリング情報が削除された。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.78)
自動接続が完了していない。 ● BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—

内 容	ページ
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。 BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.79) (P.78)
BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要な場合があります) ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.125) —
BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	—
BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	— (P.78)
携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ●オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、本機から手で接続してください。	(P.80)
携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)	
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.125) —
携帯電話の受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—

故障かな!?

■ スマートフォン連携

内 容	ページ
「NaviCon®」のデータを本機で取得できない	
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。 ● スマホ連携接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	— (P.79) (P.79)
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
「NaviCon®」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	(P.79)
スマホ連携の接続が完了しない	
接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	(P.79)
スマホ連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	—

■ ハンズフリー通話

内 容	ページ
本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない	
通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー切換 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.82)
携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
BLUETOOTHによる接続がされていない。 ● 再度接続してください。	(P.79)
携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
発着信時に相手の名前が表示されない	
携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	—
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
受話音量を下げてください。	(P.81)
通話中、相手の音声聞き取りにくい	
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
受話音量を上げてください。	(P.81)

内 容	ページ
着信履歴から発信できない	
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話してください。	—
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、携帯電話で通話できない	
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
電話帳転送ができない	
携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。(機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—

■ BLUETOOTH Audio

内 容	ページ
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
● BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。	—
● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
音量が小さい	
BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	—
「電話1」「電話2」「スマホ連携」に設定された携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。(例:電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の接続設定を解除してください。	(P.79)

故障かな!?

■ その他

内 容	ページ
(P.110～P.114) の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	
●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
●機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	(P.78)
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

こんなメッセージが出たときは

■ か

内 容
高温のため、動作を停止しています。エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。
本機の内部温度が異常に高い。 ●内部温度が下がるまでお待ちください。
この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。
再生できない形式の静止画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
この曲は再生できません。
再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。SDカードを確認してください。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ さ

内 容
再生可能なディスクを入れてください。
ディスクが汚れている、裏返しになっている。 ディスクが音楽用でない、録音されていない。 ディスクにキズが付いている。 再生できないディスクを使用している。(P.118) ●ディスクを確認してください。
再生可能なファイルがありません。
異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。
車速信号コードの接続を確認してください。(取付説明書) ●改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
受信できません (0020)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。 ●受信できる場所に移動してください。

内 容
受信できません (E202)
地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。 ●受信できる場所に移動してください。
受信できません (E203)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 ●受信できる場所に移動してください。
放送休止のチャンネルを見ている。 ●視聴できるチャンネルを選んでください。
情報を受信していません。
VICS 情報がない。 ●FM VICS チューナーの周波数設定を確認してください。
走行中はスクロールできません。
市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ●サイドブレーキコードの接続を確認してください。

■ た

内 容
● 地図カードを挿入してください。 ● 地図カードがありません。
地図 SDHC メモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。
地図データ異常により正常に起動できませんでした。
地図 SDHC メモリーカードに異常がある。 ●お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。
地図 SDHC メモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
データがいっぱいになりました。XX 件 転送されました。
アドレス帳を、最大保存可能件数 (1 500 件) まで保存した。 ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
電源を入れ直してください。
アンプに異常が発生した。 ●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

■ は

内 容
配線の不良または機器の故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
正しく配線されていない。 ●配線を確認してください。
本機が故障している。 ●お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
DC24 V 車に取り付けている。 ●ACC を OFF にしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。

故障かな!?

内 容
本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
ケーブルが金属物に触れている ●金属物から離してください。
接続している機器やケーブル(iPod/USB接続用中継ケーブル、およびUSBケーブル)に異常がないことを確認してください。 ●それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。
本機は12 V車専用です。24 V車には使用できません。事故・故障の原因となります。使用を中止し、本機を取り外してください。
DC24 V車に取り付けている。 ●ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。

■ ら

内 容
ルート探索ができません。
極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、再度ルートを探求してください。
録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。
SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを削除してください。
録音できませんでした。SDカードを確認し、もう一度録音してください。
SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。

■ S

内 容
SDカードが書き込み禁止になっています。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ 記号

内 容
⊘
ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

●故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット				
	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクについて

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ

レターボックス

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。

再生できないディスク

- 8 cmディスク*1
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Ultra HD Blu-ray
- BD-XL
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*2
- VSD
- CVD
- DualDisc*3
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW

- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Videoディスク など
- * 1 シングルアダプターも使用できません。
無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- * 2 ファーストセッションが音楽データ (CD-DA) の場合は、再生できます。
- * 3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



記録面

内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

使用できないディスクについて

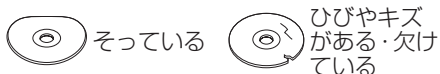
下記のようなディスクは使用しないでください。

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



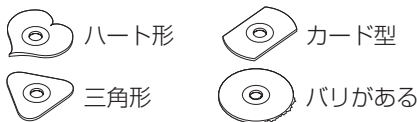
破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で利用できるSDメモリーカード

※ 本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*¹*²
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*¹*²
- microSDメモリーカード(2 GB以下)*²
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)*²

*¹ SD規格準拠カードのみ使用できます。

*² カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごとに取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.100)
または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で利用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下
- ファイルシステム: FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0(12 Mbps)
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り外す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB
対応規格 バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※ Stantard のみ	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名 / ファイル名文字数	CD-R/RW : 全角 32 文字 / 半角 32 文字 SD、USB : 全角 32 文字 / 半角 64 文字		—
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A～Z (全角 / 半角)、0～9 (全角 / 半角)、_ (アンダースコア)、全角漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)		
最大フォルダ階層	8 階層		
1 フォルダ内の最大ファイル数	255 (ファイル + フォルダ数 : ルートフォルダ含む)		
1 メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW : 512 (MP3・WMA ファイル合計) SD、USB : 10 000 (MP3・WMA・AAC ファイル合計)		—
1 メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW : 255 SD、USB : 400		—
表示可能なタグ	CD-R/RW : トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 SD、USB : トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名		
タグ表示可能文字数	CD-R/RW ID3 タグ Ver 1.0/1.1 : 全角 15 / 半角 30 文字 ID3 タグ Ver 2.2/2.3 : 全角 30 / 半角 60 文字 SD、USB : ID3 タグ Ver 1.0/1.1 : 全角 15 / 半角 30 文字 ID3 タグ Ver 2.2/2.3 : 全角 32 / 半角 64 文字	CD-R/RW : 全角 30 / 半角 30 文字 SD、USB : 全角 32 / 半角 64 文字	—
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz
ビットレート (kbps)	8 kbps ~ 320 kbps、 VBR	48 kbps ~ 320 kbps、VBR	8 kbps ~ 320 kbps
ジャケット写真	CD-R/RW : 非対応 SD、USB : 対応		—

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応しておりません。
- WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voice には対応しておりません。
- DRM (デジタル著作権管理) には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio 規格など) は再生できません。
- 2 チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3 タグバージョン 1、バージョン 2 が混在する MP3 ファイルの場合、バージョン 2 のタグを優先します。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイ

データ作成時の留意点

ズ発声、また再生できない場合もあります。

- MP3/WMA/AAC ファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
 - MP3/WMA/AAC ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります。テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
 - 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
 - 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに"MP3"の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

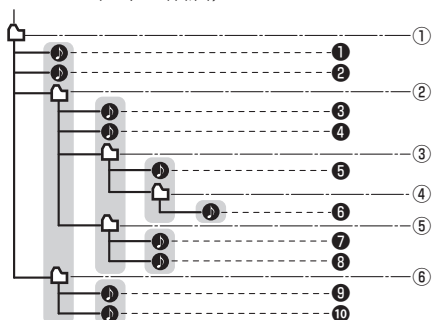
階層と再生順序について

再生順序

- ファイル①～⑩
- フォルダ①～⑥

ルートフォルダ

(CD-R/RW、SDメモリーカード、USBメモリーの直下の階層)



同じ階層(■で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ換えて再生します。



[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使

用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。

- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、①～⑩の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■ 本機で再生できる画像データ

項目	内容	
対応形式	JPEG（ベースライン）	
拡張子	JPG、jpg（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
最大階層	8 階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
	1 フォルダ内	255（ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計）
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A～Z（全角 / 半角）、0～9（全角 / 半角）、_（アンダースコア）、漢字（JIS 第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角 / 半角）	
ファイルサイズ	10 MB 以下	
画像解像度	16 × 16 ～ 4 092 × 4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
 - ・プログレッシブ方式
 - ・RGB以外（グレースケール、CMYKなど）

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176 × 176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

データ作成時の留意点

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■ 本機で再生できる動画データ

項目	内容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 AVC (Simple Profile レベル 3 まで)、H.264 (Baseline Profile レベル 3 まで)	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v (大文字、小文字どちらでも使用可能)	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps ~ 4 Mbps	8 kbps ~ 320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	—
最大解像度	720 × 480	—
サンプリング周波数	—	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8 階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1 フォルダ内	100 (ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角 32 文字 (全角 16 文字)	
使用可能文字	A ~ Z (全角 / 半角)、0 ~ 9 (全角 / 半角)、(アンダースコア)、漢字 (JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ (全角 / 半角)	
ファイルサイズ	1 GB 以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

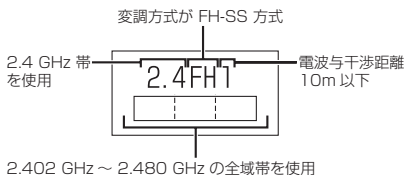
- 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。（P.147）

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 周波数表示の見方（製品銘板に記載）



■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他の BLUETOOTH対応機器や 2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべての BLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する BLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時には、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機の BLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が BLUETOOTH標準規格 Ver. 1.2以降に対応している必要があります。
- 本機の BLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳転送
 - Object Push Profile (OPP) または Phone Book Access Profile (PBAP)
 - 「NaviCon®」/「CarAV remote」
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートに登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間で使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

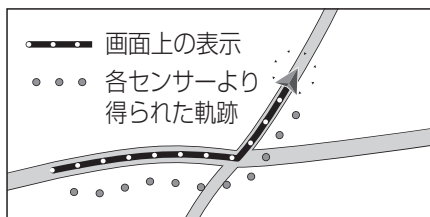
- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



走行中の道路を誤って認識したとき(道路切換)

高速道路と一般道路が平行にあるときは、道路を取り違えることがあります。(例えば、自転車が高速道路を走行中なのに自転車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

準備

- ランチャーメニューに「道路切換」が表示されるように設定してください。(P.30)

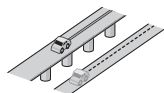
ランチャーメニューから「道路切換」を選ぶ

- 自転車位置の道路(高速道路/一般道路)を切り換えて再探索されます。
- 道路切り換えは、隣接して平行な道路を対象としています。

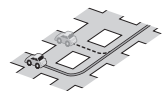
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

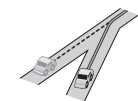
- 高速道路と一般道路が近くにある



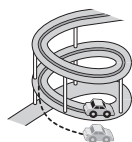
- 基盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

ナビゲーションシステムとは

逆走警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走警告が表示された地点で「ここでは案内しない」を選んでいた場合

■ 下記のような場合は、逆走してなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。

- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- 探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■ 本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例:「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■電波ビーコン5.8 GHzの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約: 当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者: 当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス: 文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス: 簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス: 車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機 (VICS デスクランプラーが組み込まれた FM 受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事でやむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお

お客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重大過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

- (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

警告



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります。交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

また、取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、異なる情報が表示されることがありますが、道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平29情使、第444-B124号)
 - この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
 - 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平29情使、第26-001号)
 - この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認12-0010)
 - 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
 - 「市街地図」データは(株)ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
 - 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
 - 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2018年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2018年2月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆3D 交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
 - ◆ジャンクションビュー… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
 - ◆方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。(全国の主要交差点を表示)
- ※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2017年11月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2018年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、全国で地図検索が可能です。地域に格差があります。なお、検索された物件の一部では検索地点の周辺までの表示になる場合があります。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【ゾーン30について】

- ゾーン30は警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

【登録商標について】

- “ゼンリン” および“ZENRIN”は（株）ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話株式会社の商標です。

VICSセンター お客様相談窓口

【電話番号】0570-00-8831（PHS、IP電話等からはご利用できません）

【受付時間】平日 9:30 ~ 17:45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

【FAX番号】03-3562-1719（24時間受付）

【URL】<https://www.vics.or.jp/>

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■ 道路：2018年4月（高速・有料道路）／2018年2月（国道・都道府県道）

■ 交通規制*1：2018年3月

■ 住所検索：2018年3月

■ 電話番号検索：2018年3月

■ 郵便番号検索：2018年3月

■ ジャンル検索：2018年2月

■ 高速・有料道路料金*2：2018年4月

■ 市街地図：2017年11月

■ 個人宅電話番号検索：2017年12月

*1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

*2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2018年10月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2018 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2018 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー	41
頭出し	58、59、60、61、65、70、72、74
アルバム	65
アングル	57
安全・安心運転サポート	27
案内音声項目設定	96
案内音量の車速連動	96
案内出力スピーカー	96
案内スタート	42
案内ストップ	42
案内表示項目設定	95
案内ルート	27
一時停止	57、61、72、74
一般道	33
緯度・経度	26
緯度・経度を表示	94
迂回	46
エリアモード	54
エンター	58
オーディオショートカット	16
オーディオメニュー	17、50
オプションボタン	20
音楽CD	59
音楽データ	121
音質	63
音声	57
音量	13

か行

カーソル	26、58
カーソルパネル	52
カード入れ忘れ案内	98
カード抜き忘れ案内	98
カーブ案内	32
ガイダンス	32
回転	71
カスタマイズ	18
カスタムアップデート	66
カメラスケール表示	91
カメラ設定	91
画面OFF	14
冠水注意ポイント	24
冠水注意ポイント表示	94
キー操作音	99
機器登録	77
気象・災害情報表示	39
規制	33
季節規制考慮	31
逆走注意アラーム	29、95
休憩メッセージ案内	96
携帯電話切換	82
経由地追加	45
経由地マーク	27
現在地画面	26
検索結果画面	41
広域	35
交差点拡大図の表示	95
交差点情報の表示	95
交差点情報表示	26、27
後席用モニター	89
合流案内	32
ここに行く	38、42、44

渋滞・混雑	33
-------	----

さ行

サーチ	58
再生時間	57
再生モード	59、60、61、65、70、74
再生リスト	72
残距離/到着時刻表示	27
残距離/到着時刻を表示	94
市街地図での冠水注意ポイント表示	94
市街地図での盗難多発地点表示案内	99
時間規制道路を考慮	97
事故多発地点	24
事故多発地点案内	32
自車位置	12
自車マーク	24、33
システム設定	15、98
施設詳細	38
施設名	26
自宅	15
自宅登録	15
自動再探索	97
自動録音	63
ジャケット写真	69、123
車種設定	15
シャッフル	74
住所	43
渋滞回避	31
渋滞情報	39
渋滞情報保存時間設定	98
渋滞なし	33
周波数	54
周辺検索	38
縮尺	35
縮尺表示	24
出荷状態に戻す	100
手動録音	63
受話音量	82
消音	13
詳細	35
詳細条件	97
情報・設定メニュー	18
情報点滅	33
情報バー	24
情報バー表示設定	94
情報メニュー	18
初期化	100
新旧ルート比較画面を表示	97
信号情報活用運転支援システム(TSPS)	90
数字パネル	53
スキャン	59、60、65、70
スクロール	34
ストラダチューン	31
スマートIC考慮	31
スマホ連携	79、83
スライドショー	71
スロー再生	58
静止画	71
静止画データ	123
セキュリティ	21、99
セキュリティ設定	99
接続確認案内	79
設定	26

全画面	71、72
選局	52、54
選局パネル	52
選曲モード	61、65、74
全曲録音	63
選択曲録音	63
専用レーン案内	96
送話音量	82
ゾーン30	24
その他設定	94、99

た行

タイトルメニュー	57
タイトルリスト	57
ダイヤル	82
ダイレクトボタン	93
立寄る	38
探索条件	45
地域	52
地図SDHCメモリーカード	88
地図色	33
地図色設定	94
地図画面	24
地図更新	87
地図情報を表示	94
地図モード	93
地図モード画面	26
地点登録	38
地点編集	38
地点メニュー	37
着信音量	81
駐車場	33
駐車場マーク	39
昼夜切換	94
ツートップメニュー	16
続き再生解除	57
停止	57
ディスク	117
データ放送	53
テナント情報	38
デュアルウィンドウ	37
デュアルウィンドウ中の案内割込み	96
デュアルウィンドウを表示	94
テレビ	52
テレビの初期設定	52
電話に出る	81
電話を切る	81
動画	72
動画データ	124
統計情報	33
到着予想	97
盗難多発地点	24
盗難多発地点 音声案内	99
盗難多発地点 表示案内	99
道路切換	126
登録機器一覧	78
登録地	47
登録地を表示	94
登録データの初期化	100
トーン	82
時計表示	94
トップメニュー	57
ドライブレコーダー	92
トンネル出口案内	96

な行

ナビ案内音量	13
ナビ設定	93
入力履歴の初期化	100
ノースアップ	36

は行

ハイウェイモード	37
ハイウェイモードの表示	95
背景	19
早送り	58、59、60、61、65、70、72、74
早戻し	58、59、60、61、65、70、72、74
範囲	33
ハンズフリー	82
ビーコン受信音	97
ビーコン割込み	97
ビーコン割込み設定	97
微調整	26、34
ビデオカメラ	92
標高地図色	94
標高地図を表示	93
標識拡大表示	32
フェリーを優先	97
フォルダ	60、70
吹き出し表示	24
吹き出しを表示	93
踏切案内	32
プリセット選局	54
プリセットメモリー	54
プレイリスト	57
分岐案内頻度	32
ヘディングアップ	36
方位マーク	24
方面看板の表示	95
保留	81

ま行

マップ	33
マップコード	26、129
右画面に地図表示	93
右画面表示	37
右画面用地図設定	93
道幅優先	31
ミュート	13、82
名称	43
名称の文字サイズ	93
メイン画面用地図設定	93
モード切換	70、71、72
目的地ショートカット	16
オーディオメニューを表示	16
目的地追加	45
目的地方向直線表示	27
目的地方向を表示	95
目的地マーク	27
目的地メニュー	17、41
文字サイズ	33

や行

ユーザーカスタマイズ	15、24
ユーザー情報設定	53
郵便番号	52

さくいん

有料道	33
有料道路優先	31

ら行

ライト点灯案内	32
ラジオ	54
ランドム	59、60、61、65、70
ランチメニュー	30
ランドマーク	24
リアビューカメラ	91
リアル3D表示	95
リジューム	57
リターン	58
立体ランドマーク	24
リピート	59、60、61、65、70、74
ルート	31、42
ルート学習	31
ルート学習結果の初期化	100
ルート削除	42
ルート情報	37
ルート情報の表示	95
ルートの全表示	95
ルート編集	46
ローカルアップデート	66
録音	63
録音管理	63
録音設定	63

数字・記号・アルファベット

10キー	58
3D	36
3D視角調整	36、93
50 m市街地図表示	94
5ルート	38
AAC	69
AUDIO OFF	51
AUDIO ON	51
Audio画面中の案内割込み	96
AUDIO情報を表示	94
BLUETOOTH Audio	61
BLUETOOTH	76、77、125
CarAV remote	83
DVD-Video	56
DVD-VR	56
ecoドライブ	86
ETC2.0アップリンク	98
ETC2.0自動音声再生	98
ETC2.0車載器	90
ETC2.0受信音	98
ETC2.0設定	98
ETC2.0割込み	98
ETC音声ガイド	98
ETCレーンの表示	95
EWS(緊急情報)の割込み	96
FM/AM	54
Gracenote	66
iPod	73
iPod抜き忘れ案内	99
JCTビューの表示	95
LAUNCHER	30
MAPCODEを表示	94
MEMORY MUSIC	65
MP3	60、69

NaviCon®	83
SA/PAマーク	39
SDカードの初期化	100
SDメモリーカード	67、120
TILT	14
TVの初期化	100
USBメモリー	69、120
VICS WIDE	33
VICS案内	96
VICS考慮	31
VICS自動再探索	97
VICS情報マーク	40
VICS タイムスタンプ	24、38
VTR	92
WMA	60、69

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
 - Microsoft、Windows、Windows Automotive、Windows Mediaは、米 国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
 - 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
 - 「ETC」、「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
 - ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
 - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
 - SDHC、SDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
 - BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
 - “DVD Logo” は、DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
 - “ゼンリン” および “ZENRIN” は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
 - タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
 - 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
 - NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
 - 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ）を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
 - Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
 - Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
 - Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iPod nano and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
 - The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
 - 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
 - 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

■ 上記(3)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

- **RSA Data Security' s MD5 License**

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

- **Independent JPEG Group's License**

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- **Apache License 2.0**

This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

- **OpenSSL License**

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

■ Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

- Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および"Powered by Gracenote"ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンライン サーバー-或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得されたGracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利のかつ個人的目的にのみを使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利をGracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

仕 様

	CN-RE05D	CN-RE05WD
電源		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース	
消費電流	2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)	
液晶ディスプレイ		
画面寸法 (幅×高さ×対角)	7V型ワイド 157 mm×82 mm×177 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	1 152 000 画素 (縦480×横800×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4～8 Ω 使用可能)	
接続端子		
ビデオ入力レベル	映像:NTSC方式 1.0 Vp-p (75 Ω 3.5 φ 4極ミニジャック) 音声:ステレオ 2.0 Vrms MAX (3.5 φ 4極ミニジャック)	
カメラ入力レベル	映像:NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)	
ビデオ出力レベル	映像:NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)	
オプションカメラ入力	映像:NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×184 mm (取付奥行き寸法 165 mm)	205 mm×104 mm×177 mm (取付奥行き寸法 161 mm)
質量	約2.5 kg	
動作温度	－10℃～+60℃	
DVDプレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz～22 kHz (サンプリング周波数 48 kHz)	
信号対雑音比 (SN比)	90 dB (IHF、A)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	
FMチューナー		
受信周波数	76.0 MHz～99.0 MHz	
実用感度 (SN比、30 dB)	15 dB μV以下	
SN比 (入力54 dB μV)	50 dB以上	
ステレオ分離度 (入力60 dB μV)	35 dB	

AMチューナー	
受信周波数	522 kHz～1 629 kHz
実用感度 (SN比、20 dB)	37 dB μ V以下
地上デジタルTVチューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz～710 MHz (13CH～52CH)
入力信号レベル	-75 dBm～-20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 100 mA
BLUETOOTH	
通信周波数	2 402 MHz～2 480 MHz
RF出力	-4 dBm (0.4 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
GPSアンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	26 mm×14 mm×30 mm
質量	約50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/Aコード)
受信可能衛星	GPS、QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法(幅×高さ)	118 mm×81 mm
質量	約170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω

- 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.102～116)でご確認のあと、
なおらないときは、まず電源を切り、お買い
上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製 品 名	SDカーナビステーション
品 番	お買い上げ製品の品番にチェック してください。 ☐ CN-RE05D ☐ CN-RE05WD
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

- 修理に関するご相談は…

お近くの「サービスご相談窓口」へ→P.147

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。



パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

? 使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル ゴー パナソニック
0120-50-8729

■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～18:00 (年中無休)

FAX (有料) **045-938-1573**

受付時間 9:00～18:00
(土・日・祝日・当社休日を除く)

🔧 修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの
販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」
(P.146) へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト

[http://www.panasonic.com/jp/
support/consumer/car/repair.html](http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html)

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。保証書、もしくはナビゲーションユニットの 天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (ナビID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。 「システム情報」(P.18)で、番号をご確認ください。 ()

パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地